

令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 4月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

少し前まで雪が降っていたのに気がつけば緑が増え始め、半袖で過ごす日も増えてきました。また、4月は雨が多いことから April showers bring May flowers と言われ、湿度の高さと気温の高さで日本の梅雨を思い出しました。しかし、春が来たかと思えば、冬のように寒い日もあり、不安定な天気におハイオらしさを感じています。今回のレポートでは4月の上旬にあったイースター休暇での旅行、友人が開催してくれたイースターパーティー、学内で行われたシンポジウムについてご紹介します。

【イースター休暇】

4月7日から4月10日までの4日間、イースター休暇がありました。イースターはキリストが磔刑で亡くなってから3日目に復活したことを祝うキリスト教の祭りです。そのため、友人曰くイースター休暇はキリスト教が母体にある大学特有のもので、公立大学にはあまり見られないようです。今回の休暇は春学期最後の連休だったため、私は友人とともにナイアガラの滝とペンシルバニア州のピッツバーグに旅行に行きました。6日の授業終わりにフィンドレーを出発し、友人がナイアガラの滝まで7時間運転してくれ、夜のライトアップされたナイアガラの滝を見ることができました。7日は日中のナイアガラの滝を見たほか、カナダ側まで歩いて渡り、ボートツアーにも参加することができました。日本のパスポートではカナダ入国に特別な書類は必要なく、帰りのアメリカ入国のための ESTA やビザさえあれば簡単に国境を渡れます。しかし、他国のパスポートではカナダ入国に必ずビザが必要な場合があります。今回の旅行では友人の一人がカナダ入国にビザが必要だったため、元々カナダ側に渡る予定はなかったのですが、友人がオンラインでの仕事があるということで、友人の仕事中にカナダ側まで行くことができました。今回の経験を通して改めて日本のパスポートの強さを思い知り、他国籍の友人との旅行では事前に情報収集をしっかりとこなすべきだという教訓を得ました。

ピッツバーグでは、ケーブルカーやアンディ・ウォーホル美術館などを訪れ、ゆっくりと過ごしました。ピッツバーグは街中に大きな川があり、丘が多く高低差が大きな街だったため、フィンドレーとは全く異なる景色を楽しむことができました。残念なことにピッツバーグの有名な観光地で白人至上主義の人を見かけ、人種差別のような体験もしましたが(直接的な危害がなかったのが幸いです)、街自体は都会と自然が混ざり合った、ゆったりとした空気感が漂う素敵な場所でした。



【イースターパーティー】

友人が日本人留学生に向けてイースターパーティーを開催してくれました。イースターの過ごし方は家庭によって異なるようですが、友人の家の慣習に則って、エッグペインティング、エッグハントを行い、キャロットケーキを食べました。卵は新たな生命の誕生を意味するため、キリストの死からの復活を象徴しています。イースターのモチーフとしてよく使用されるウサギも、多産であることから卵と同じような理由でイースターの象徴となっているようです。エッグペインティングでは着色料の入ったカラフルな飲み物に殻付きのゆで卵を浸して卵を染色しました。また、エッグハントでは、ジャパニーズプログラムハウス（学内の施設）の庭に散りばめられたお菓子入りの卵形のケースを探しました。約 100 個のケースを 5 人で全て探し当て、中に入っているお菓子をみんなで食べました。日本ではイースターを祝わないため、とてもアメリカらしく、新鮮な経験となりました。

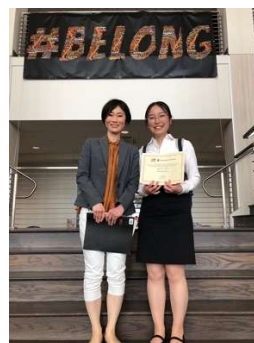


【シンポジウム】

4月14日に学内でシンポジウムが開催され、多くの学生が自身の学びやプロジェクトについて口頭またはポスターでのプレゼンテーションを行いました。この日は授業が全て休講になり、プレゼンテーションを聴きに行くことが課題もしくはエキストラクレジットになっている授業も見られました。私はプレゼンターとしてシンポジウムに参加し、日本の大学の卒業論文のテーマである日本仏教の社会活動についての発表を行いました。申し込みから約2ヶ月間の準備のもと発表に臨みました。ありがたいことに教室はほぼ満席で、秋学期にお世話になった宗教学の先生も発表を聞きに来てくださいました。今までで一番多い聴衆だった上に英語での発表だったためとても緊張しましたが、練習通りに発表することができました。発表後は達成感とともに自信がつき、プレゼンテーションへの苦手意識が薄まりました。日々の授業の課題や他のイベントと発表準備の並行は大変でしたが、日本人の宗教観や日本仏教の取り組みを紹介できたとても良い機会でした。また、留学の集大成として自分の成長を感じることができました。



体育館ではポスタープレゼンテーションが行われました。



アドバイザーをしてくださった青木先生と。

本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、miyaharay@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てれば幸いです。